

2023年度 事業報告

(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

概要報告

新型コロナ感染が完全に収まる事の予測はつかない現状が続いている。

スポーツウエルネス吹矢活動は、特にコロナ禍での共存生活が求められ、衛生管理に集中し、感染対策を充分確認した体制のもと活動を進めてきた。

全国の大会・体験会の参加者も徐々に増員傾向可能な環境となってきたと言える。ゆるみの無いように進めたい、進めて頂きたいものです。

2023年度は、中・長期計画に則り、活動を進めてきた。しかし現状は厳しい一年であった。

重要課題の会員数回復等に、諸施策を積極的に進め、コロナ禍で被った退会員・支部の減少を少しでも回復させるべく全員が策を講じてきた。

しかし、新規会員と退会者数の差の歯止めに至らず、又支部動向も高齢に伴う後継者問題もあり、努力が見出せない一年であった。

しかし、特筆点も見いだせた

① 大会参加者が微増であるが回復基調である。

ブロックの皆さん、会員の皆さんのご努力に感謝申し上げます。

ありがとうございます。

② 段位審査

六段位合格者は 2022年29名が 2023年42名と増加した。

又、七段位に二名の合格者誕生がありました。

受験者は三回の試験に毎回40名を超えました。

八段位の合格者誕生は翌年への繰り越しとなりました。

③ 取り組み事業数値報告 (表中スポーツウエルネス→SW と記す)

項 目	目 標	23 年実績	備 考
会員数	3,000 名	2,332 名	0 県 石川・沖縄
新規支部	60 支部	41 支部	0 地区 3 ブロック
級位認定 取得者数	3,600 名	3,246 名	22 年度 2,458 名 前年比 132%
段位認定 取得者数	4,000 名	2,909 名	22 年度 2,779 名 前年比 104%
GS 認定 取得者数	名	88 名	22 年度 89 名 前年比 98%
ジュニア級位認定 取得者数	140 名	一般統合	22 年度 80 名 統合により対比無
公認指導員新規資格者 新規者	350 名	155 名	22 年度 143 名 前年比 108%
上級公認指導員資格者 新規者	100 名	49 名	22 年度 55 名 前年比 89%
審判員 A 新規者	100 名	120 名	22 年度 106 名 前年比 113%
障がい者サポート指導員 新規者	50 名	31 名	22 年度 24 名 前年比 129%
第 5 回全日本 SW 吹矢団体選手権大会	500 名	296 名	開催日 5 月 23 日
SWF 吹矢理事長杯大会	500 名	323 名	開催日 5 月 24 日
第 1 6 回全国障がい者 SW 吹矢大会	100 名	62 名	開催日 9 月 7 日
第 1 2 回全日本 SW 吹矢選手権大会	500 名	380 名	開催日 11 月 27 日
第 5 回全国 SW 吹矢オープン大会	600 名	500 名	開催日 11 月 28 日
第 13 回全国 SW 吹矢ジュニア大会	50 名	30 名	開催日 8 月 5 日
大学競技大会関西学生対校選手権大会		8 校	開催日 12 月 3 日

国体デモンストラレーションスポーツ大会 鹿児島県 鹿屋市体育館		全国 161 名	開催日 5 月 28 日
全国障害者スポーツ大会（オープン競技） 鹿児島県 ハートピアかごしま		全国 32 名	開催日 10 月 22 日
ねんりんピック愛顔のえひめ 愛媛県 陶街道ゆとり公園体育館		全国 171 名	開催日 10 月 28 日
全国レクリエーション大会 徳島県 うだつアリーナ		全国 160 名	開催日 9 月 16 日

各部活動要点は以降参照ください。

各部活動要点

普及部

- ① 中長期プログラム企画立案実施の小委員会開催 7 回開催 4 月 11 日終了
- ② 新規会員獲得 新規支部設立 への活動要請提案

審判部

- ① 期中に部長交代があり新体制で対応。
- ② 理事長杯、団体戦、オープン大会、選抜選手権の四大会開催支援

競技部

- ① 理事長杯、団体戦、オープン大会、選抜選手権の四大会開催
- ② オープン大会に新種目を加え開催
- ③ 規定は責任者の意見聞き対応する。

教育部

- ① 資格返上者が多く歯止めが難しい。
- ② 段位試験（七段位 八段位） 3 回開催した。

3 月開催で新七段位二名誕生する。

③ 六段位審査のブロック開催

2023年度よりブロック開催を推進し合格者増の効果を見いだせた。

ジュニア&ユース育成部

大学での普及活動報告

平成国際大学 生徒数：72名 成蹊大学 生徒数：21名

・健常者の障がい者と一緒に楽しめるスポーツとして取り上げて頂きました。

大学祭・ゼミでの普及活動

星城大学の大学祭、目白大学で体験会実施

ジュニア普及活動

三菱地所主催スポーツ庁主管…「スポーツフェス 丸の内 2023」体験者：約120名

日本レクリエーション協会主催…「スポーツ祭 2023」体験者：約90名

「国際団体設立準備室」

活動内容：

1. 段級位制度、2024年度のスローガン等を英訳し海外へ周知
2. 海外支部として「メキシコシティ日墨支部」13名で発足、現在21名
3. 「吹矢ファラジイラン支部」の発足を承認。8名で発足、現在49名
4. 海外支部員・会員が来日：

ニュージーランド総支部、メキシコ、香港、ポーランド、イランより7名

障がい者サポート部

活動内容

障がい者サポート公認指導員の役員講習会を開催。

北海道、九州北部、九州南部、東海、各ブロックで開催。

管理部

活動内容

入金通知の受領方法をネット経由とする

支部への情報提供をネット配信

キャンペーンを1年間実施、入会者数は前年比135.2%という結果となった。

総括

経費削減取り組みとして、郵送物を可能な限りメール配信に変え、継続的に行う。

以上